

高校生に活躍の場を 卒業作品「ラッピングカー」

8月2日(火)に、町内の自動車販売店で、下諏訪向陽高等学校の3年生美術部員の有志4人が、車の表面を包むように絵画を描いた卒業作品「ラッピングカー」を披露しました。



車にかけられたシート
が外されると…



この取組みは、「新型コロナウイルス感染症の拡大により、活動が制限されている高校生に活躍の機会を」と、岡谷市の建築設計事務所と町内の自動車販売店が協力して実現しました。

作品のテーマは、「四季折々」で、春・夏・秋・冬を、部員一人ひとりが担当して描き上げました。

し き 四季 おり おり 折々

「満開の桜」と「夏の太陽と海」を舞う蝶の姿、そして「紅葉した葉やトンボが舞う秋の空」と「吹き寄せる冬の冷気」、「四つの季節に浮かぶシャボン玉」が現れ、季節の移ろいが美しく表現された「ラッピングカー」が現れました。

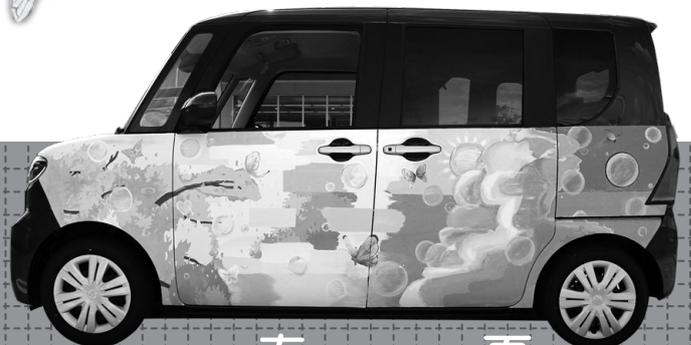


冬

秋

吹き寄せる冬の冷気

紅葉した葉やトンボが舞う秋の空



春

夏

満開の桜

夏の太陽と海

同部員を乗せた「ラッピングカー」は、快晴の町内を複数回にわたり試乗走行し、対向車や道行く人の目を楽しませていました。



楽しかった

注目された
ただいまー



会場には、昨年に作成された「建設現場の壁面に描かれたパブリックアート」2点も展示されました。

同部員からは、これらの作品を通じて「地域に元気を届けたい」との声が聞かれました。